

荒川太郎右衛門地区自然再生事業

第8回協議会の結果について

< 目 次 >

第8回協議会での確認事項等	----- 1
---------------	---------

平成17年2月5日

荒川上流河川事務所

第8回協議会での確認事項等

大項目	小項目	確認事項及び課題の概要	今後の対応
(1)当面のメニューの考え方について	1)雨水集水路について	事務局提案の内容で了承された。 ホンダ教習所からの排水については、水質を把握しておく必要がある。	・水質についてはモニタリング調査時に十分な観測を行い、評価していく方針とします。
	2)試験掘削について	階段状の試験掘削形状については了承された。 階段の寸法が図により異なるので修正してほしい。 ボーリング調査によると、現資料に示す地点の地中にはコンクリートガラが埋まっていることがわかったため、他箇所での実施を検討する(事務局)。 試験掘削の時期については、池水位が高いため予定と異なる可能性がある(事務局)。	・現地の状況等を踏まえ、場所を変更して、具体的な試験掘削形状及び工程(案)を示しました 資料-3参照
(2)専門委員会について	1)生態系モニタリング専門委員会について	事務局案の通り、設置することについて了承された。	・生態系モニタリング専門委員会では様々な議論を行っていますが、今回は「試験掘削地のモニタリング計画」についてとりまとめています。 資料4参照
	2)その他の委員会について	外来種の進入対策など現地で実施する「維持管理部隊」を結成した方がよい。 地域との連携を図るためには、地元が核となって勉強会を開催するなど、地域住民の参加のきっかけとなる仕組みを作ることが望ましい。	・外来種対策等の具体的方針については、生態系モニタリング専門委員会で検討します。実施する組織については、今後、別途検討します。 ・今後の検討課題とします。